

# 稲グリ新聞

〈発行〉  
早大グリークラブOB会  
稲門グリークラブ

〈編集〉  
加藤 晴生 生郎 豊了  
原 信二  
佐々木 石川  
石川 石川

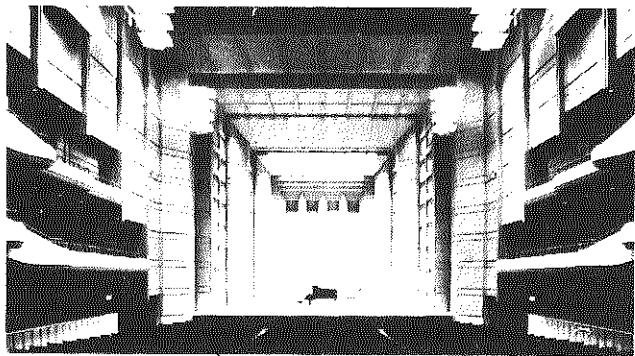
〒192-12武蔵村山市大南  
2-26-12 頼原信二郎方  
TEL (0425) 65-1839  
(毎月1回発行) 定価100円

## OB会の総力結集で 今定演を成功させましょう

幹事長 加藤 晴生(三七)

稲グリ本年度最大のイベントである文化村オーチャードホール定演まで、あと三カ月足らずになりました。このところの猛暑にも拘わらず、練習出席状況もますますで、特に卒業後初参加のメンバーも増えつつあり、定演成功に向けて意を強くしております。

今度の定演の特色はここ三回続いてきた混声のステージをなくし、全て我々だけのステージとしたことです。グリーが生んだ本格的オーケストラ指揮者・堀氏と、かつ



渋谷BUNKAMURAオーチャードホール

てグリーの黄金時代を築いたこともある長沢氏が指揮を受け持ち、これに、岡村大先輩にも特別出演して頂き男声合唱の醍醐味を十分に聴衆の皆様堪能して頂くという趣向です。アマチュア社会人合唱団が単独で格調あるオーチャードホールを借り切って演奏会を開催するなど、このホールにと

## 定演チケット販売に当たって

定演チケット販売担当 マネ 清水 実(三八)

今回のオーチャードホールにおける定演には、皆様ご承知の通り、「稲グリ」の一人立ちが問われています。

演奏の内容こそが問題だ、というのはよく判っています。世間の評価、そして聴きにきて下さった人の評価も、「満員のホールでの名演奏」と「カンコ鳥の鳴くよいうなホールでの名演奏」では全く異なります。名演奏とは、満員のお客様に聴衆と歌う者、稲グリメンバーの心が通じ合った時初めて生まれるものです。

つても恐らく前例のない事でしょう。今年には団の内外に一度に実力を問う事が出来る、稲グリにとって滅多にないチャンスです。この定演が成功してこそ、あの感動的な連続での成果も生きてきます。定演成功への第一のキはこの八月をどう乗り切るにかかっています。勿論全ステージ暗譜です。八月は十四日(火)一日だけを除き例年の夏休みを取り止めて全て練習に打ち込みます。皆様、お誘い合わせの上是非参加してください。お願いします。事情があつてオンステ出来ない方にもチケットの販売等では是非とも協力してください。八月中旬にはチケット、チラシの準備も出来ます。

我々は良い演奏をする前提として、ホールを満員にするという大仕事も果たさねばなりません。そこをお願い。

(1) オンステメンバーは、チケット二十枚、  
(A席)三〇〇〇円×一〇枚、  
(B席)二〇〇〇円×一〇枚)  
をノルマと考えて、早めに売り先確保など手を打ってください。枚数の多い方はいくらでも、いつものように最も沢山チケットを売って下さった方には、私からお礼の口づけを差し上げます。

## (2) 年度幹事からの連絡も行いま

すが、同期で、出席してはいないが親しくしている人には個人ベースで積極的に声をかけてください。出席してなくてメンバーにもあまり親しい人がおらず、この稲グリ新聞だけが稲グリとの接点という方は、直接誰にでも申し込んでください。

## (3) 渋谷の文化村オーチャードホ

ールという東京における最新の大ホールでの演奏会で、会場に行ってみるだけで価値があり、演奏を聴くともっと価値があるということをシッカリPRする。

## (4) 順不同で申し訳ありません。

これが最も重要なことですが、今回は女声の賛助のない「男声合唱」を心ゆくまで楽しめる、期待を裏切らない演奏が保障されていることに自信を持つ。

以上色々書きましたが、結論は、練習に出て歌うこと。そうすれば多くの人に聴いてもらいたくなります。そしてチケットは満員にするためにも売ってください。人間金を払えば来てくれます。無料で進呈する場合は必ず来てくれるに限ってください。

以上よろしくお願いいたします。

## 練習状況

五月から七月までの練習で、長沢さん指揮の「ニグロ」は全六曲の譜読みが、また「ウエストサイド」は新曲「サムシング・カムィング」の譜読みがそれぞれほぼ終わった。「ロシア」「阿波」はこれから。八月は練習回数が少ないので、合宿までに各自の自主練習がどうしても必要。

七月十七日(火)の練習には出席者が五十七名と五月以来の最高であったが、T<sub>1</sub>が何故かたった六名。トップがんばれ!

■ニューフェース  
T<sub>2</sub> 妻藤 克己さん(三一)  
稲山 輝機さん(四〇)  
B<sub>1</sub> 山本 雄二さん(四五)  
■久々登場メンバー  
T<sub>1</sub> 村上 実さん(四四)  
T<sub>2</sub> 田中 弘文さん(三四)  
伊東 一郎さん(四七)  
(六月にモスクワから帰国)  
B<sub>2</sub> 沢登 典夫さん(二七)  
佐藤 公俊さん(四八)

## 出席記録

	6/26	7/3	10	17	24
T <sub>1</sub>	9	10	11	6	10
T <sub>2</sub>	6	10	10	16	12
B <sub>1</sub>	13	9	8	16	10
B <sub>2</sub>	19	17	13	18	15
	47	46	41	56	47



稲グリ 練習日程(平成2年)

7月31日(火)	東混練習場	18:30~21:00	ウエストサイド・ストーリー
8月7日(火)	東混練習場	"	ロシア民謡
21日(火)	東混練習場	"	シゲロ・スズキ リチャード
28日(火)	東混練習場	"	阿波
9月4日(火)	東混練習場	"	ウエストサイド・ストーリー

《定演強化合宿》

8日(土)	河口湖「さんすい」	15:00	現地集合 (堀)
9日(日)		15:00	現地解散 (〃)

11日(火)	東混練習場	18:30~21:00	シゲロ・スズキ リチャード
18日(火)	東混練習場	"	阿波
24日(祝)	奉仕園(大)	13:30~17:30	阿波(堀)
25日(火)	東混練習場	18:30~21:00	ロシア民謡
10月2日(火)	東混練習場	"	シゲロ・スズキ リチャード
6日(土)	奉仕園(小)	16:00~18:00	阿波(堀)
	"(大)	18:00~21:00	ロシア民謡(岡村)
7日(日)	プレイス24	13:00~15:00	シゲロ・スズキ リチャード
		15:30~18:00	ウエストサイド・ストーリー(堀、ハイン)
9日(火)	東混練習場	18:30~21:00	阿波
12日(金)	奉仕園(小)	18:30~21:00	ロシア民謡(岡村、堀)
14日(日)	プレイス24	13:00~18:00	7日と同メニュー(堀、ハイン)
16日(火)	東混練習場	18:30~21:00	ロシア民謡(岡村、堀)
20日(土)	奉仕園(大)	13:00~15:00	ゲネプロ(堀)

21日(日) 第23回「稲門グリーンクラブ定期演奏会」  
渋谷BUNKAMURA・オーチャードホール  
15:00 開演(予定) 18:30~打上げ

23日(火)	東混練習場	18:30~21:00	マリオン曲ほか
30日(火)	"	"	"
11月6日(火)	"	"	"
13日(火)	"	"	"
20日(火)	"	"	"
27日(火)	"	"	"
12月1日(土)	早大グリーンOB会・稲グリ「平成2年度総会」		
	第9回「グリーンクリスマス」		半蔵門会館
4日(火)	東混練習場	18:30~21:00	マリオン曲
11日(火)	"	"	"
15日(土)	90「コーラス・イン・マリオン」		桜楓合唱団、桜友女声合唱団と共演

■11月以降は、マリオンステージに向けて合同練習もあり。  
会場及び時間は追って発表。

# オーチャード定演は目一杯楽しく！ 早めの暗譜、お願いします

演奏マネージャー 安斎 真治(四七)

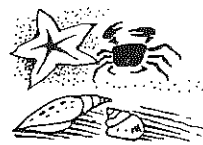
第二十二回定期演奏会まで、わずか二カ月余りとなりました。残りの練習日は合宿を入れても二十日ありません。幸い七月は久しぶりの人や新しく参加する人も加わって、練習出席者が大変多くなっています。是非ともこのペースで夏を乗り切るようお願いいたします。

パートでは、最近ベースパートがますます厚くなっています。

男声コーラスにとっては大変嬉しいことですが、それもテナーパートがあつてのこと、テナーパートの皆さんもよろしくお願いします。今度の定演では、全く新曲だけという油断は禁物です。いずれも内容の濃いステージですので、気を引き締めてかかりたいものです。今までにやった曲なので、何となく覚えているかと安心するの

は危険です。時間がないので不安な部分、覚えにくい部分は最後までそのまま行ってしまう恐れがあります。今一度早めにシツカリと暗譜してください。また自宅でも是非キーボードなどで音を確認することを勧めます。いままでステージに乗らなかつた方、今から一つでも多くのステージに参加して、オーチャードホールの感激を共に味わおうてはありませんか。覚えてください。練習のときは、歌える人の近くに座るなど工夫してみてください。とにかく、前にやっただ人よりは短時間の努力で楽しいステージに乗れるのですから。

モスクワっ子まで驚かせた、ゆとり時代を実践する稲グリの我々、ますます楽しく元気にやりましよう！



## 会社や職場の機関誌、紙などで稲グリ定演のPRをしよう

今定演のオーチャードホールを満員にするために、メンバーのなかで会社や関連のところがPR誌などに執筆のチャンスがあつたら積極的に稲グリの定演を宣伝してください。

■既に次の機関誌にソ連の記事がらみて定演のPRが載せられます。

■月刊資本市場 五〇〇〇部  
石原さん(三五)扱い

■M B K Life 二万部  
徳田さん(三一)扱い

## ソ連演奏旅行「写真」出来！

ソ連演奏旅行に同行したスタジオ・スペースフォトの落合さん撮影の写真ができました。七月三十一日(火)の東混練習場で配布開始となります。原則として郵送はしませんので、注文された方は練習場で現金と引き替えてお受け取りください。地方の方は、スペースフォト宛の郵便振替等を利用してご入金ください。

## ソ連演奏旅行「文集」のこと

ソ連演奏旅行の素晴らしかった思い出を綴る「文集」の製作作業が現在進行中ですが、あと十数名の原稿がまだの方がいます。みんなの思い出集にしたいと思っております。是非原稿をお寄せください。文集はB5判で、カラー写真のグラビアも予定していますので、少し豪華なものになります。出来上がりは十月二十一日の定期演奏会を目度にしていきます。乞うご期待。

「ハミダシ情報」桜楓合唱団二十五周年記念誌「永遠(とわ)にひびけ」が完成し、編集局にも届いた。B5判二〇〇頁の立派な装丁にまず驚く。内容は関連の指揮者、作曲家、団体等のメッセージから団の歩み、座談会、会計記録、ステージドレッスの歴史等女性ならではのきめ細かいもので、団誌としては極めて優れたものといえる。編集スタッフに敬礼！

「稲グリ元氣印の元」

年会費納入手続きはシツカリと！

銀行自動引落しによる会費入金状況について



会計 石原 祥弘(三五)

ちなみに、手数料は次のようになっています。

■引落し事務手数料	
基本料金 一回	三〇〇〇円
単価 一件	二〇〇〇円
新規登録 一件	二〇〇〇円
修正 一件	五〇〇円
解約 一件	五〇〇円

したがって、今年の銀行自動引落しによるOB会費入金は次の表の通りの結果となっています。

■平成2年度・OB会費銀行引落し入金状況

	引落し請求件数	基本料金	単価×件数	実質入金額
3月27日	307	3,000円	61,400円	2,834,103円
4月27日	46	3,000円	12,566円	22,434円
5月28日	42	3,000円	11,742円	33,258円

以上のように手数料は馬鹿になりません。四月は、二万二四三四円の会費を得るために手数料が一万二五六六円かかっており、五月も三万三二五八円の会費収入に対し、一万一七四二円の手数料です。

このためにメンバー諸兄には是非次のことを心掛けて実行してください。

- (1) 毎年三月下旬には引落し銀行口座に会費分を入金すること。
- (2) 転勤、転宅で引落し口座の変更があった場合は、直ちに会計石原まで連絡すること。

以上銀行引落しの会員の会費入金状況をお知らせしましたが、その他の会員で会費未納の方には、今後個々に連絡しますのでよろしくお願いいたします。財政確立は稲グリ元氣印の元をお忘れなく。

通常、引落しは三月に行われ、不能の場合は四月、五月と合計三回実行されますが、この間に会員の銀行口座に相当額が入金されていないと翌年三月まで引落しはできません。

■引落し及び不能件数

	引落し請求件数	回収件数	不能件数
3月27日	307	261	46
4月27日	46	4	42
5月28日	42	3	39

七十人体制の合宿を！《定演強化合宿案内》

合宿マネ 小俣 泰英(三八)

今年五月にソ連演奏旅行が実現したことにより、定演が秋になりました。そのため、例年ですと夏休みに入っているこの時期、猛暑をうけて猛練習というハードスケジュールになりました。その一環として「定演強化合宿」を下記のように行います。

今度の定演は「定演プラスソ連演奏旅行の成果」が問われています。定演が大成して初めて「ソ連演奏旅行も大成した」といえることが日本の聴衆に分かっていただけることなるのではないのでしょうか。そして「定演成功の鍵

は合宿にあり」です。

メンバー各位を桶木に例えて恐縮ですが、桶を構成している桶木の高さがまちまちの場合、水が一番低い桶木の水準以上には溜まりません。これ程極端ではないにしても、合唱にも似たところがありません。この桶木のレベルアップを図り、一定水準に揃える——これが合宿の使命でしょう。ですから、オンステムメンバー全員の参加が望まれます。地方の方々、特にソ連演奏旅行に参加された方々、また、新生名古屋稲グリからの参加を大歓迎いたします。

前回、前々回とも合宿参加者数は六十名でした。今回は何としても七十名を確保したいと思っております。(会場の「さんすい」は八十名までOKです。)

メンバー全員の参加を、そして合宿、定演の成功を！！

日時：九月八日(土)午後三時～九日(日)午後三時  
現地集合、解散  
合宿地：河口湖「民宿さんすい」  
☎〇五五五―八三一  
二七〇七

☎四〇一―〇四  
山梨県河口湖畔

勝山村一七九

■詳しい案内書、地図、申込書等は練習場か、小俣又は最寄りの幹事まで。

岡村喬生「シューマン物語」

<ピアノ：渡邊康雄／語り：寺田弘子>

選曲集／リーダークライスOp. 39 / 詩人の恋

1990年10月11日(木) 6時30分会場／7時開演  
有楽町マリオン朝日ホール 全席指定 ¥ 4,000円  
お問合わせ：朝日新聞記念会館(284-0131)

「ハミダシ情報」指揮者の堀俊輔さん(五〇)が、七月二十八日(土)朝七時五十分から六分間、NHK総合TVの「この人90」に登場、期待通り野太いセリフを連発、インタビューをケムに巻いていた。

東西4大学  
OB合唱団  
による

# はなはなファミリーコンサート



大阪稲門グリーンクラブ  
名誉会長 坪井 秀夫

第一回が「ひやひや」で、今回は「はなはな」。では次はなんだ?  
ケタケタかガタガタかトボトボか、などと言いながら飲むのは楽しい。  
日本人は働き過ぎ、儲け過ぎなどと世界中の人から白い眼で見られているらしいが、  
このコンサートを見たら少しは認識が変わるのではないか。  
新聞雑誌には「趣味のない人は早死にする」などと脅迫記事が出ているが、  
その点でもこのコンサートに参加している連中は安心してよろしい。  
これから明るく行きたい。

## 『はなはな繁盛記』

豊田 千秋(三五)

田村マネジャーがいつになくマジメな顔をして近寄って来る。「幹事長、相談がある。三十九年卒の同期会をやりたいのだが……」  
「勝手にやればよからう。」  
「総勢十七名、合宿にも何名か出るし、七月二十一日の練習参加の条件付きではなはなコンサートに全員オンステージ認めてくれませんか?勿論自費で。」  
「ゲッ! すりゃ、おまえ達本気かい?」  
発足間もない名古屋稲門グリーンクラブ高橋会長以下六名、能勢川合宿に参加、来年は名古屋でコンサートを開きたいと意気軒高。小道ピアノニストを相手に名古屋名物の宣伝までしていた。後日、柿沼幹事から電話で次の日曜日に特別練習を決定したから藤野コンダクター、小道ピアノニストの派遣を依頼して来る。

「判っているんだ、おまえ達の真意は。」  
「小道久仁子のみ名古屋出張。時間一杯伴奏及び歌唱指導。キシメンをご馳走になり、青柳ういろうのお土産を貰って無事帰阪。」

七月二十二日、いずみホールのステージでエル交換のあとニコニコしながら、ルロイ・アンダーソンを歌う四十数名の顔を見ながら又々、不覚にも涙が出そうになった。都の西北の杜を離れた時のま、のトッチャン坊やたち……  
楽譜にかじりついてはいる奴も、悠々と暗譜をして藤野コンダクターの顔を見据えている奴も、一寸の顔を見据えてはいる奴も、一寸の間に間違えた奴も、本当に有難う。

「男声合唱ってどうしてこんないいんだらう?」

正直言って、今回の選曲には賛否両論、議論百出だった。そして決して我々の得意なレパートリーとは言えないだろう。でもその議論も練習も無駄ではなかった。今回のステージを、最終・最高のものとは思っていない。終わってみ

## 短期決戦、初陣飾る

名古屋稲門グリーンクラブ「応援」

四月二十九日に発足した名古屋稲門の初ステージがはなはなコンサートだった。当日は名古屋から九人が舞台に立った。四十数人の全体メンバーの中で一大勢力を形成、しかも一騎当千の若手(?!)-メンバー。大阪稲門グリステージの成功に大いに貢献できた」と自画自賛している。

五月七日の初練習から二カ月半短期決戦だった。毎月曜の定期練習は十一回。六月三十日から七月一日にかけて兵庫県川西市で行われた大阪稲門の強化合宿には四人が参加した。仕事の早い本多副会長(五一)は合宿後の名古屋での強化練習を即計画。大阪のピアノニストの小道久仁子嬢に「ぜひ名古屋の練習に来て欲しい」と嘆願。小道嬢、好物のういろう、きしめん、それに若手独身団員がいると甘言につられて快諾してくれ

れば、あそこはこうすればよかった、ここでふっと間違えてしまったと残念な想いがよみがえるばかりだ。よし、この次はきつと素晴らしいルロイ・アンダーソンを聞かせてやるぞ!

飲み物も食べ物も全然足りなかったけれど、熱気と友好が最高に盛り上がった二次会を含めて、「四連ファミリー」のコンサートが実現したことを心から嬉しく喜んでいる。

(大阪稲門グリーンクラブ幹事長)

た。合宿の別れ際、手の早い、いや手回しのよい本多氏、サイフにしのばせておいた名古屋までの新幹線片道切符を彼女に手渡し、再会を約束した。

果たして、一週間後の七月八日(日)、名古屋稲門の久保田幹事長(四五)の自宅で強化練習。小道嬢のピアノに合わせて正味二時間みっちり歌い込んだ。その練習風景を久保田氏がビデオで撮影。翌日の定期練習ではビデオを再生し、それに合わせての練習となった。(練習場には、なんとビデオプロジェクトと一〇〇インチの大スクリーンがあるのだ。)さらに、七月十六日の最終練習では、名古屋芸術大学でピアノを教える久保田夫人の進子(のぶこ)さんが即席にもかかわらず、素晴らしいピアノ伴奏で私達の練習に協力してくださった。

かくして、名古屋稲門の初陣は、人の和と最新鋭の武器のおかげで見事に白星で飾ることができた。感謝、感謝。

名古屋稲門グリーン幹事  
柿沼 郭(五三)記

## 大阪稲門グリーンクラブ

- 作曲/ルロイ・アンダーソン
- 編曲・指揮/藤野 充
- ピアノ/小道 久仁子
- パーカッション/大北 浩之、寺前 康弘

## ルロイ・アンダーソンの世界

- プリंक・プレック・プランク
- ワルツィング・キャット
- シンコペーテッド・クロック
- ブルー・タンゴ
- ラッパ吹きの休日

【ハミダシ情報】おなじみ「OB四連ナプキン」祝 東西四大学OB合唱団関西による「はなはなファミリーコンサート」一九九〇・七・二二(日)午後二時 いずみホール、梅田・玉姫殿 午後五時半」とある。クローバークラブの西村さん(四一)に謝々。

# はなはないかしたコンサート

## 東京から参加して

副会長 志賀 信(二一九)

在阪の東西四連OB合唱団による、「はなはないかしたコンサート」が七月二十二日(日)午後、大阪のいずみホールで開かれた。このホールは、大企業の高層ビルが偉容を誇る大阪ビジネス・パークの一角に今年の四月に開設されたもので、内部はウイーンの楽友協会のホールそっくりという古典的におりに満ちた豪華版。そしてステージに上がったのは、はなはないコンサート!? といつははなはないおもしろいと、発足したばかりの名古屋稲グリの九人、それに東京、岩手、秋田、北九州からの参加者を加えた四十五人。

弦のピチカートが縦横にとび跳ねたり、トランペットの高鳴りが強風のように吹きまくるルロイ・アンダーソンの音楽を男声合唱で再現しようというのだから、えらい騒ぎだ。聴きに来たお客さんも一瞬唖然とした表情、しかしそこは全身これ心臓のグリーメン、パンパンララララ・ダバダダパパラヤ(歌詞?)と奮闘しているうちに拍手も高鳴り、最後の「ラッパ吹きの休日」が終わったときには絶賛の嵐となった(と思つた)。演出も心にくい。四曲目は歌がないのだ。山路君(三二二)のためにとやってきた依田有左、岡崎辰也の青春ペアーがブルータンゴにのって華麗な踊りを披露、大喝采を

浴びた。この日、大汗をかいて頑張った編曲、指揮の藤野君(四〇)、藤野君の後輩だったばかりに大阪稲グリの繁みから抜け出せなかつた身の不遇を楽しんでいるピアニストの小道久仁子さん、そして歌も口も十人力の大坂稲グリのみなさん、お疲れさまでした。ヒヤヒヤ、ハナハナに続いて来年も八行となると、フワフワかフラフラ・コンサートということになるのか。

### 《オンステムメンバー一覧》

#### 大阪稲門グリークラブ

TOP TENOR	SECOND TENOR	BARITONE	BASS
山路 洋平(32)	平井 滋(29)	坪井 秀夫(28)	田口 好之(30)
坂場 孝之(35)	鎌田 龍児(35)	志賀 信(29)	須賀 敬一(30)
高橋 克(36)	長井 秀行(35)	浅井 修三(32)	辻 寿(32)
石島 義弘(39)	田村謙之助(39)	豊田 千秋(35)	松並 孝雄(35)
貝塚文一郎(39)	小梶 勝(39)	富永 侃(35)	大江 匡昭(39)
池野 亮一(39)	越田信市郎(39)	三宅 昇(35)	傍島 勝(39)
大高 武彦(39)	中村 元(39)	阪口 達也(39)	飯塚 功(39)
松崎 忠(39)	吉村 誠(39)	岩本 孝嗣(39)	西多 邦夫(40)
有田 直之(41)	藤野 充(40)	塚越 政夫(39)	阿部 良行(41)
宮本 嗣男(42)	前沢 勝(42)	西 宏昌(43)	浅井 良之(52)
向川原慎一(48)	石井 清(48)	伊藤 哲也(50)	柿沼 郭(53)
市橋 信男(50)	本多 一義(51)		道浦 俊彦(59)
小澤 直樹(58)	浅野 幸伸(52)		ピーター・フィンケ (プリンストン大グリー卒)
今中 徹(59)	加藤 康聡(58)		小道 久仁子 (ピアニスト)
嶺重 淑(62)	沖本 憲嗣(58)		
津下本健一郎(38)			

- 第一部 大阪稲グリ 「R・アンダーソンの世界」  
新月会 「雪灯りの路」  
ワグネルOB 「ドイツ合唱曲集」  
クローバー 「シー シャンティーズ」
- 第二部 合同演奏  
●「花と緑の博覧会」にちなんだ花の歌 (4曲)  
●男声コーラス・ヒット曲集 (4曲)

### 大阪稲門グリークラブ海外演奏旅行シリーズ

## 西原春夫・現早大総長と行くシンガポール講演と演奏の旅

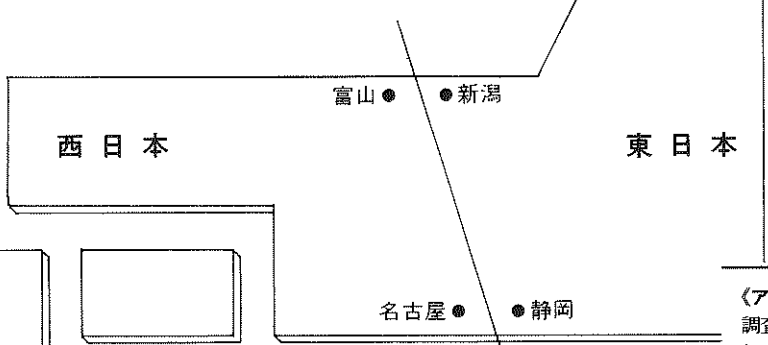
とき 平成3年2月9日(土) 2/10 終日観光  
～2月11日(祝) 2/11 午前中

スケジュール 2/9 午前 伊丹空港発(全日空) シンガポール着  
夜 講演・西原春夫氏コンサート  
シンガポール全日空ホテル会場  
(旧シラトン)大宴会場  
担当マネ・田村謙之助(39, 勤務先 06-531-8151)

演奏曲目 上海の思い出 アンダーソン  
ルロイ・アンダーソン歌集  
WASEDA応援歌なし  
(新曲ほとんどなし)  
自宅 0798-74-0846

### 全国区の合唱団

	東日本	西日本
NHK東京放送合唱団	90%	92%
東京混声合唱団	95	91
二期会合唱団	89	81
慶応ワグネルソサエティ	78	62
関西学院グリークラブ	49	59
稲門グリークラブ	48	35
神戸中央合唱団	38	37



### 西高東低型

	西	東
合唱団京都エコー	44%	30%
住友金属混声合唱団	31	23
大和銀行合唱団	41	28
京都産業大学合唱団	40	24
クローバクラブ	12	10

### Q8 こんな合唱団を知っていますか?

#### 東高西低型

	東	西
晋友会合唱団	49%	24%
合唱団OMP	32	21
山形西高校合唱団	37	20
安積女子高校合唱団	36	25

## 稲グリの全国知名度第六位!!

全日本合唱連盟から出されている機関誌「ハーモニー」七十三号(一九九〇年七月一日発行)の中の「全調査・合唱連盟」合唱に関するアンケート「第八問」稲グリが全国知名度第六位にランクされている。ソ連演旅等でPR満点の為か。

#### 《アンケートデータ》

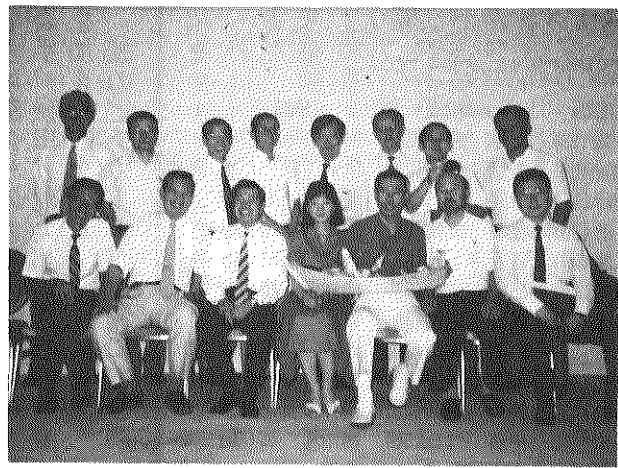
調査方法: 郵送による選択回答方式  
調査日: 1990年4月  
依頼数: 745人(音楽関係361, その他366)  
回答数: 251人(音楽関係125, その他126)  
依頼先内訳: 数字は発送数, ただし( )内は回答数  
音楽関係者: 音楽家379(85)(声楽50/器楽74/揮31/作曲・作詞52/評論・教育72)音楽関係団体82(37)(労音・吹連など56/オーケストラ

事務所など26)  
その他: 教育委員会等文化行政・教育91(29), 国・市議員・知事・市長54(13), マスコミ54(22), ホール・音楽事務所・出版など103(39), 会社役員, その他団体役員など64(22)  
地域別依頼数: ( )内の右は音楽関係者, 左はその他  
東京(218, 155), 東日本(東京を除く)(83, 96), 西日本(80, 113)

【ハミダシ情報】四谷三丁目店で大交お世話になっていた「庄や」の店長斎藤剛三さんと紀子(きこ)でなくのり(のり)さんがピカピカの新店長夫妻として赴任。☎〇三二五三八六一四四一。

四一年卒同期会『冥想会』

T. 佐藤 隆一



正式呼称は、「早稲田大学グリークラブ四一年卒『冥想会』」という。なかなかうまいネーミングである。開催日は、去る七月二十六日(当該新聞発行日の三日前)のこと。場所は新高輪プリンスホテル・エグゼクティブフロア一階『フリージア』。早いもので前回の羽山の追悼会から一年半が経過。八年ぶりに香港から戻ったヒデを囲むことになったのである。前日は、昔懐かしあの『おふくろ』の少し先を左折して、早進社吉沢先輩(三三)を訪ね、楽譜二十部、名簿二十部を拝借。完売すれば八万円。会計石原先輩(三五)の喜ぶ顔が目につく。ヘビーデューティ。雲一つなきハイムーン。暑い日射しがうらめしい。恒例により今回もE原氏に『無料招待』の申し

入れを行うも、「新聞編集突貫作業に付き」と丁重なる辞意。納得するも残念至極。会場のセッティングは横濱プリンスホテルの坂井に任す。欠席者の中野(智)と常盤から各々壹万円と五千円のカンパあり。出席者のヌル作(山本)からは、高級ウイスキー一本差入れ。有難き友情の印。ノーネクタイでの入場可否について問合せがあったのも、格式高き『冥想会』ならではのこと。さて当日。夜七時開会。羽山の冥福を祈り全員黙祷。乾杯(洋暉)。稲グリ活動状況報告(佐藤)。会は順調に進行し、豪華な鯛の活き造り(舟盛)。プリンセスホテル出血大サービスマン(前)に食べ且飲む。欠席者の棚卸し後、出席者自己紹介開始。本日紅一点のゲスト、阿部加奈子嬢(高校三年生)の挨拶が好感。『グリーメンのアットホームなことを集いに接してみて、女に生れたことを悔やみます。』ヤンヤの喝采、歓声。親父の阿部の鼻の高かったこと。が、すぐにヤジ。『親父は男に生れたことを悔やんでるぞ。』親父、マツ青、すぐにマツ赤、大爆

笑。お開きは十時を過ぎ、二次会はナシ。雷鳴が轟いていたのも知らず時が過ぎ、帰途についたのでありません。次回の再会は、四一年卒のホームカミングデーと定演の重なる十月二一日。是非とも多くの同輩諸兄のご出席を熱望するものであります。名簿と楽譜の売上げは各十二部でありました。

- \*出席者名：有田、田中、中村洋暉、中沢、佐藤、阿部、坂井、村山、山本秀作、鈴木(秀)、山本信、後藤、吉村、鈴木絃輝、ゲストに阿部加奈子嬢 計十五名



トップレベルの演奏で魅了 豊中混声合唱団、初の東京公演を聴く

B. 徳田 浩(三一)

学生時代から合唱の虫といわれた須賀敬一氏(三十・学指揮)が率いる豊中混声合唱団(約八十名)が三十回定演を記念して上京し、極めて意欲的なコンサートに成功させた。(六月二三日・上野学園石橋メモリアルホール)

響き、それに何よりも豊かな音楽の心が見事に調和し、さすがにトップレベルの演奏で聴衆を魅了した。この団の特徴は、常に大曲・難曲や前衛的な作品に挑戦しながら、一方ではひたすら高田三郎の音楽と心を追い求める姿勢にある。今回のプログラムの前半が須賀氏の指揮で『芭蕉の俳句によるプロジェクション(湯浅謙二作曲)』、難曲『ペンデレツキのスターバト・マーテル』と、若い指揮者・西岡茂樹氏による

「三群の混声合唱とピアノのための『ぼく』(谷川俊太郎作詩・三善晃作曲)」の後半が高田三郎氏自身指揮による「一曲礼聖歌」と「水のいのち」と、何とも密度の高いもの。東京公演の為に例年より二週間早く仕上げたせいか、前半一寸したミスや、ピアノニッソモ不協和音の長続部分のブレ引き継ぎなどに余裕のない部分もあったが、こんなことは全く気にならなほど迫力が溢れていく。ただこれだけ熱演が続くと聴く側もぐったり疲れ、高田氏の音楽になつて客席もホッとしたい人多かった。おなじみの「水のいのち」はさすがに見事な完成品。ただ私個人は、あまりにも子音を強調し過ぎた部分、日本語の自然な流れを疎外した部分がちよっぴり気になった。アンコールで歌われた「来なさい重荷を負う者」の美しいピアノニッソモは正に絶品。心が洗われる思いがした。豊混には音楽監督・須賀氏の他、

在阪稲グリメンバーが何人か加わっていた歴史がある。そのせいか客席には稲グリ関係者が多数つめかけ、熱い声援を贈り続けていた。この夜の稲グリマンの共通した感想は「一人一人の声とワセグリの栄光に甘えて、我々は練習に妥協が多すぎ。だから本番も、技術・音楽性とも今一歩、不完全燃焼のまま自己満足に酔っていないか。ソ連での演奏を生かして、今夜聴いた豊混を糧にして、今年のオーチャードは一丁やろうぜ！」

隣席にいた福井会長「篠君によく似たメンバーがいるね。あれは篠本人ですよ。会長も目が悪くなりましたね。ロシアで『東西南北』の大音声とゼスチャーで会場をうならせた同君が、須賀氏指揮のスターバト・マーテルを熱唱していた。豊混の演奏を聴きながら、改めて稲グリのパワーを感じ続けていた。

七月二十八日(土)の有楽町界隈。①マリオン朝日ホールでは、副会長・山本健二さん(三一)のリスアイト「藤原義江の足跡を偲ぶ」が。これは写真等の手配の都合で次号に掲載予定。乞う御期待。②帝国ホテルでは杉野耕一さん(五九)・日本経済新聞政治部記者・自民党渡辺派担当の結婚式。新婦・信子さんも元議員秘書であり、披露宴の出席者や祝電には著名議員がズラリ。岩淵さん(五八)の「歴代首相からの祝電」がこれに花を添えました。媒酌人は橋本さん(二六)。なお、二次会には、奇しくもこの日が誕生日の渡辺美智雄氏と山口敏夫氏も出席され、五十九年卒組が歌うコーラスに拍手喝采。福井会長(二九)や奈良原さん(三六)、影山NHK記者(五一)も駆け付け、共に祝福してくださいました。

編集後記

山本さんのリスアイト後は、ご本人のほか、岡村喬生さん(二九)やボニージャックスをはじめ、稲グリメンが有楽町で飲んだと聞いておりますが、このメンバーが、奈良原さんや今中さん(五九)を中心に狂喜の盛り上がりとなった杉野結婚式二次会。惨事会組と合流しなかつたことは不幸中の、いやもとい、幸い中の幸いでした。編集局がそれぞれ別の方に出席していた編集局では、これを「90・7・28有楽町ニアミス事件」と呼んでいます。とにかく、山本さんの益々のご活躍と、杉野夫妻のご多幸を念じます。(S)

関西OB四連による「はなはなコンサート」の写真がとうとう間に合わず、掲載できませんでした。残念。名古屋稲グリ勢には、東京での定演にも是非応援にかけつけてもらいたいです。最近練習に出て来ない人で、定演のソリストに内々定している人がいます。そう、あなたですよ。(E)